平成２４年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

（整理番号） 093	**提案機関名**	かながわ西湘農業協同組合

要望問題名

野生鳥獣を寄せ付けない効果的な忌避物質を用いた被害防止技術開発について

要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】

近年、野生鳥獣による農作物被害が急増しており、農業者が被害を受けても防除方法等の解決策が難しいことから、営農意欲の減退や耕作を諦めたりして、耕作放棄地に繋がっているケースも少なくありません。農家自ら狩猟免許を取得し、猟友会等と連携した駆除対策に取り組んでおりますが、捕獲という手段は被害防除対策によっても被害等が防止できない最終的な手段であります。

また、捕獲以外の被害防除対策として、過去にはイノシシの忌避効果があるとされていた青色発光ダイオード（LED）ライトを購入し、効果を検証したところ、効果は一時的なもので期待できるような忌避効果は確認されませんでした。今後、農作物等に野生鳥獣を寄せ付けないような、効果的な忌避物質を用いた被害防止技術の試験検討をお願いしたい。

解決希望年限	①1年以内　[②2～3年以内]　③4～5年以内　④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター　②畜産技術所　③水産技術センター ④自然環境保全センター
備　考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	**担当部所**	企画調整部

対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 [⑥現地対応] ⑦実施不可

試験研究課題名 （①、②、④の場合）

対応の内容等

当所では鳥獣害防止技術に関する研究課題の設定について、提案可能な技術及び実現可能性の有無により実施を検討しており、平成21年度の研究成果として「ブドウ栽培におけるイヌの被毛の設置によるハクビシン食害防止」を公表しています。しかし、現地で問題となっている鳥獣害すべてへの対応は困難な状況です。

なお、現地での実施が可能な鳥獣害防止技術に関しては、独立行政法人や他県の成果を活用し、普及部門をとおして支援してまいります。

解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
備　考	